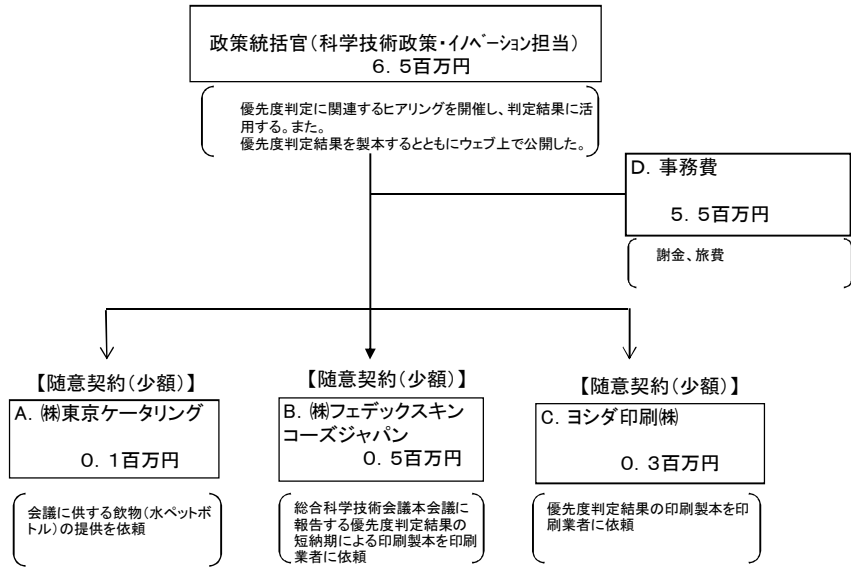


平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	科学技術関係予算の改革		担当部局庁	政策統括官 (科学技術政策・イノベーション担当)		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度		担当課室	参事官(資源配分担当)		鈴木 裕道	
会計区分	一般会計		施策名				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法(平11法89)第26条		関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月28日閣議決定) 平成23年度の科学技術に関する予算等の資源配分の方針 (平成22年7月16日総合科学技術会議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	質の高い科学技術予算の編成に向けて、科学技術政策担当大臣及び総合科学技術会議有識者議員が、各府省の概算要求施策について、科学的観点からの重要性等を判断する優先度判定(SABC判定)を実施する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度概算要求施策の優先度判定(SABC判定)を実施するため、科学技術の専門家を招聘して、各府省の概算要求施策のヒアリングを実施する。 当該ヒアリングにおける科学技術の専門家の知見を踏まえ、概算要求施策の改善・見直しの指摘を行う等、質の高い科学技術予算編成に向けた取組を行う。 						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	10	6	7	6	6
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	
	執行額	10	6	7	6	6	
	執行率(%)	30%	83%	93%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	○定量的な成果指標は示せない。 適切な優先度判定(SABC判定)の実施に必要な旅費・謝金等の諸経費の予算であるため、一定の数値により成果を示すことはできない。		成果実績	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	○定量的な成果指標は示せない。 適切な優先度判定(SABC判定)の実施に必要な旅費・謝金等の諸経費の予算であるため、一定の数値により成果を示すことはできない。		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	(—) (—)
単位当たりコスト	—		算出根拠	—			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	3.4	3.4	執行実績を踏まえた積算の見直し			
	委員等旅費	2.1	2.4				
	庁費	0.7	0.4				
	計	6.1	6.2				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	引き続き、ヒアリングを可能な限り集約することで必要な旅費・謝金の節減に努める等、費用の節減に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	点検結果にあるとおり、総事業費の大半を占める諸謝金・旅費について、ヒアリングを可能な限り集約すること等により、予算の効率的執行に留意すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
予算の効率的執行に留意しつつ、引き続き、ヒアリングを可能な限り集約することで必要な旅費・謝金の節減に努める等、費用の節減に努める。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かるよ
 うに記載)

A.㈱東京ケータリング			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
会議費	会議に供する飲物(水ペットボトル)の提供	0.1			
計		0.0	計		0
B.㈱フェデックスキンコーズジャパン			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本代	優先度判定結果の印刷製本	0.3			
計		0.0	計		0
C.ヨシダ印刷㈱			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本代	総合科学技術会議本会議に報告する優先度判定結果の短納期による印刷製本	0.5			
計		0.0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. ㈱東京ケータリング

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	㈱東京ケータリング	飲料水の提供	0.1		—

B. ㈱フェデックスキンコーズジャパン

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	㈱フェデックスキンコーズ ジャパン	優先度判定結果の印刷(短納期)	0.5	随意契約 (少額)	—

C. ヨシダ印刷㈱

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ヨシダ印刷㈱	優先度判定結果の印刷	0.3	随意契約 (少額)	—